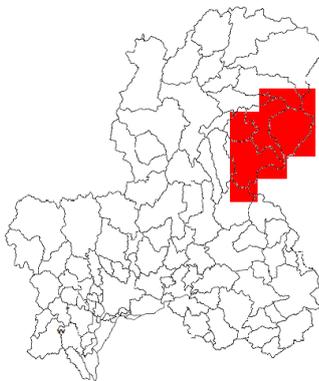


タカネサトメシダ	<i>Athyrium pinetorum</i> Tagawa	準絶滅危惧
		イワデングダ科
選定理由	岐阜県では生育地、個体数共に少なく存続の基盤が脆弱である。	<p>写真(荻山恒弘)</p> 
形態の特徴	夏緑性のシダ植物。葉はサトメシダに比べてやや小型で三角形。葉柄基部の鱗片は被針形で黒褐色～茶褐色。中部羽片の最下小羽片は外先に出るので柄はほとんど無いように見える。	
生態的特徴	亜高山帯の林下に生育している。	
分布状況	県南の狭い範囲に見られる。	
減少要因	ササ類の増殖による生育環境の破壊が主な要因と思われる。	
保全対策	生育地のササ類の駆除が必要である。	
特記事項	ヤマイヌワラビとの雑種のヤマタカネサトメシダも見られる。	
参考文献	岩槻邦男. 1992. 日本の野生植物. シダ. P. 236. 平凡社. 東京.	
		

文責: 荻山恒弘